

Ⅲ 南部地域・東部地域の振興

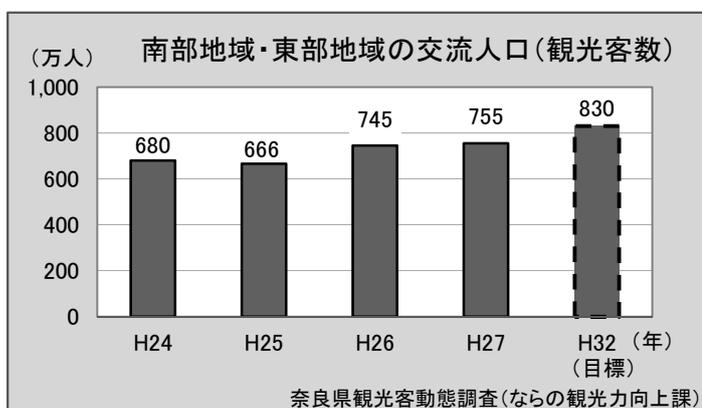
主担当部局(長)名
南部東部振興監 山本 尚

目指す姿

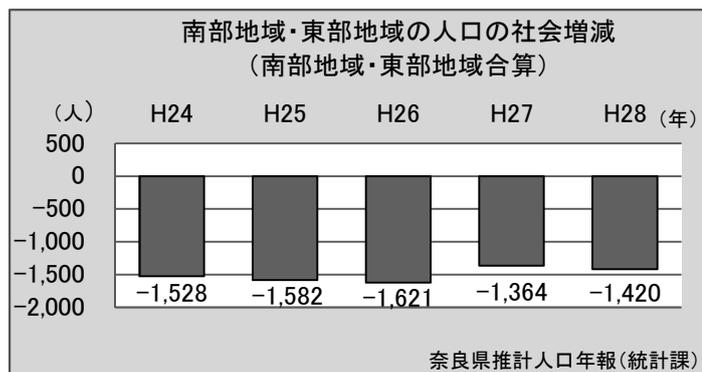
魅力的な観光資源づくりや、情報発信の強化、多様なイベントの開催、仕事の確保や医療・福祉、教育等の充実、災害への備え等を進め、南部地域・東部地域を「頻りに訪れてもらえる、住み続けられる」地域にします。

関係部局(長)名:総務部長 辻本 浩司、危機管理監 中 幸司、地域振興部長 村田 崇、観光局長 森田 康文、健康福祉部長 土井 敏多、こども・女性局長 福西 清美、医療政策部長 林 修一郎、くらし創造部長 柗田 齊志、景観・環境局長 柗田 齊志、産業・雇用振興部長 中川 裕介、農林部長 福谷 健夫、県土マネジメント部長 山田 哲也、まちづくり推進局長 金剛 一智、水道局長 西川 浩至、教育長 吉田 育弘

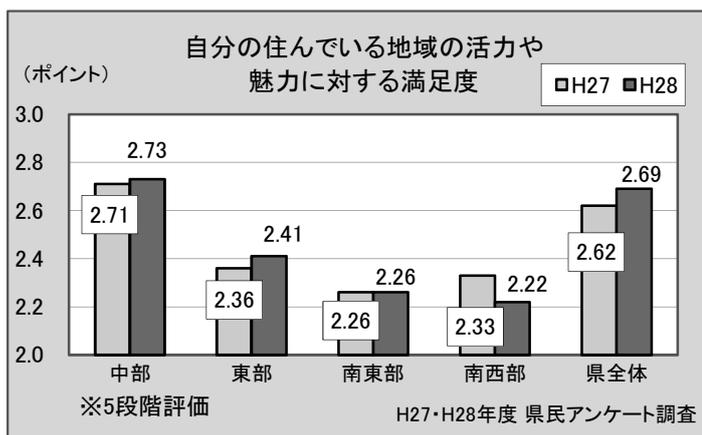
1. 政策目標達成に向けた進捗状況



目標	平成32年までに、南部地域・東部地域の交流人口(観光入込客数)を830万人にすることを目指します。(H25年:666万人)
取組	観光資源となる地域資源の発見・創出や情報の発信、また、訪れてもらうための地域の特色を活かしたイベント開催等に取り組みました。
成果	平成27年の南部地域・東部地域の交流人口(観光客数)は755万人と、前年より10万人増加しました。



目標	平成32年までに、南部地域・東部地域の人口の社会増減をプラスにすることを目指します。(H26年:約マイナス1,600人)
取組	二地域居住・移住を受け入れる仕組みづくりと拠点整備、また、移住者の働く場の確保に取り組みました。
成果	平成28年の南部地域・東部地域の人口の社会増減は1,420人減と、前年よりやや社会減が増えました。



目標	自分の住んでいる地域の活気や魅力に対する満足度を高めます。(H27年度県民アンケート調査<5段階評価>南東部地域2.26、南西部地域2.33、東部地域2.36、県全体2.62)
取組	医療の充実、若者の雇用の場の創出、農林業等地域産業の振興及び通院・バス交通等の生活支援事業を実施しました。
成果	自分の住んでいる地域の活気や魅力に対する満足度は、南西部地域が前年度をやや下回りました。(H28年度県民アンケート調査<5段階評価>中部2.73、東部2.41、南東部2.26、南西部2.22、県全体2.69)

2. 現状分析

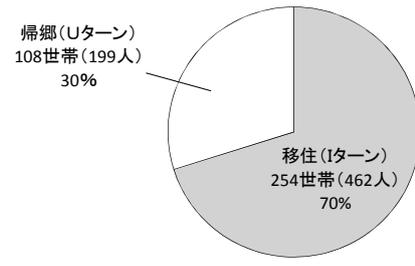
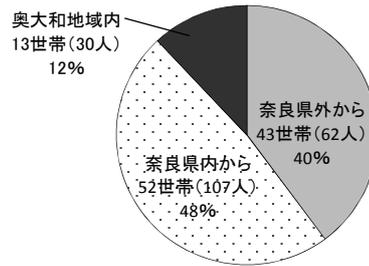
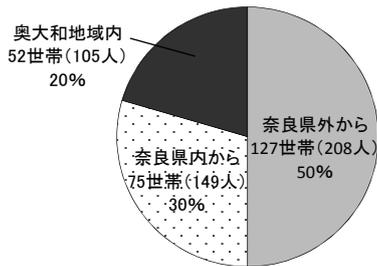
移住者対象アンケート集計結果 実施期間：平成27年10月～平成29年3月

	移住(Iターン)		帰郷(Uターン)		移住者	
	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数
奥大和地域外からの移住	202	357	95	169	297	526
奈良県外	127	208	43	62	170	270
奈良県内(奥大和地域外)	75	149	52	107	127	256
奥大和地域内での移動	52	105	13	30	65	135
計	254	462	108	199	362	661

移住(Iターン)254世帯(462人)

帰郷(Uターン)108世帯(199人)

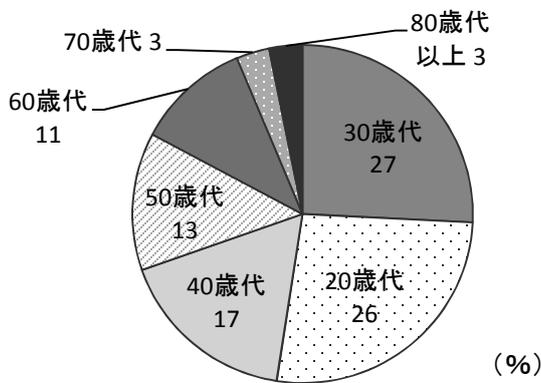
合計 362世帯(661人)



奥大和各市町村調べ

南部地域・東部地域(奥大和地域)19市町村へ移住された362世帯(661人)のうち、移住(Iターン)は254世帯(462人)、帰郷(Uターン)は108世帯(199人)です。

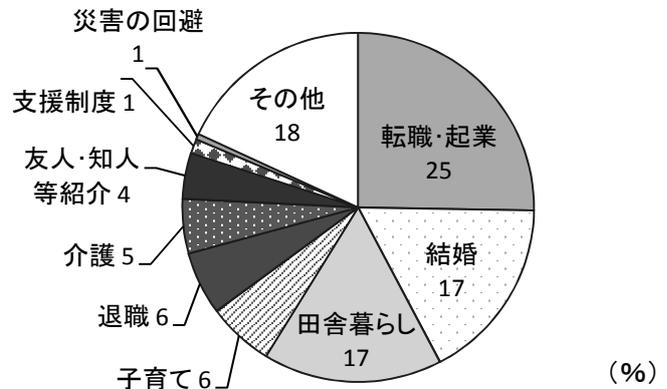
移住者の世帯主の年代



奥大和各市町村調べ

移住者の世帯主の年代は、働き盛りである20歳代から30歳代が全体の半数を占めています。

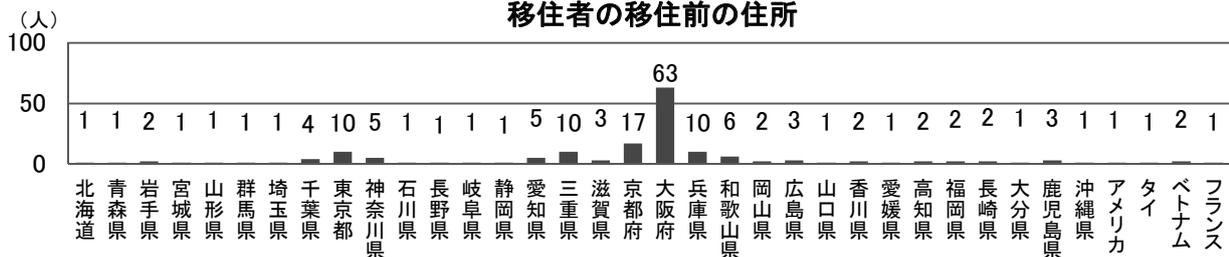
移住のきっかけ



奥大和各市町村調べ

移住のきっかけとしては、「転職・起業」が最も多いです。

移住者の移住前の住所



奥大和各市町村調べ

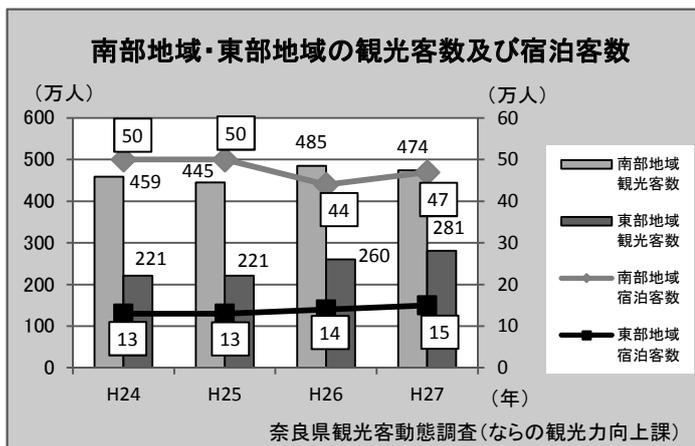
移住者の移住前の住所は、近畿圏内の府県が多く、中でも大阪府からの移住が最も多いです。

3. 戦略目標達成に向けた進捗状況

戦略1 南部地域・東部地域での交流を促進します。

主担当課(長)名 南部東部振興課長 元田 清士

戦略目標	①特色ある観光基盤の整備を推進し、南部地域・東部地域の魅力を向上させます。 ②観光客数を増やすとともに南部地域・東部地域のファンを増やすため、情報発信を強化します。(H28年度までに、移住ホームページ「奈良に暮らす」アクセス数を550,000件にします。(H26年度492,453件)) ③観光客数を増やすため、オフシーズンのイベント開催や、おもてなしの向上等を進めます。(H32年度までに、新たなイベントに対する支援を20件にします。)
------	---



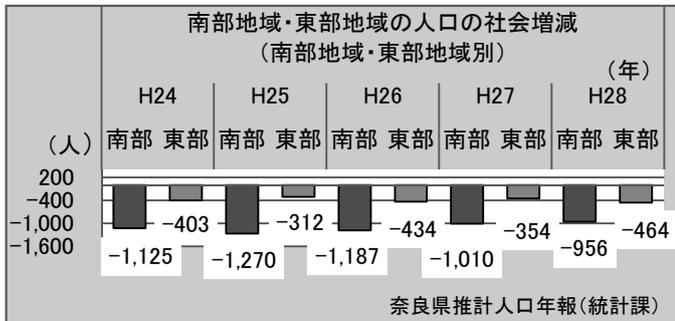
取組	観光資源となる地域資源の発見・創出や情報の発信、また、訪れてもらうための地域の特色を活かしたイベント開催等に取り組みました。(①,②,③)
成果	平成27年の南部地域・東部地域の観光客数は、前年と比べて、南部地域では11万人減、東部地域では21万人増でした。また、宿泊客数は、前年と比べて、南部地域では3万人増、東部地域では1万人増でした。

主な取組指標等	平成26年度	平成27年度	平成28年度	担当課名
観光資源となる地域資源の発見と創出(①)				
南部・東部振興プロジェクト検討事業件数(件)	3	2	2	南部東部振興課
広域的な自転車利用ネットワークにおける案内誘導及び注意喚起サイン整備率(%)	78	83	83	道路環境課
自転車の屋内保管や自動車搬送サービス等が可能な「サイクリストにやさしい宿」認定宿数(件)[累計]	58	58	58	道路環境課
南部地域・東部地域の魅力を多くの人に知ってもらうための情報発信(②)				
WEBや雑誌スマートフォンを活用した南部・東部観光情報の発信件数(件)	20	20	21	奥大和移住・交流推進室
インターネットや雑誌、イベント等による情報発信件数(件)(「弘法大師の道」の魅力発掘)	4	4	4	奥大和移住・交流推進室
移住ホームページ「奈良に暮らす」のアクセス数(件)	492,453	461,013	473,916	奥大和移住・交流推進室
実際に南部地域・東部地域を訪れてもらうための仕掛けづくり(③)				
うだ・アニマルパークの年間入場者数(人)	214,910	237,870	228,170	うだ・アニマルパーク振興室
新たな地域イベントへの支援件数(件)	—	—	5	奥大和移住・交流推進室

これまでの成果

- ・吉野山から高野山までを舞台にしたトレイルランニングレース「Kobo Trail 2016」を平成28年5月に開催し、199人の参加者がありました。(①,②)
- ・路線バス運賃キャッシュバックキャンペーンを平成28年12月から平成29年3月まで実施し、利用者数が前年度同時期と比べて、110%増の10,605人となりました。(③)
- ・奥大和地域の活性化を目指し、「奥大和ゆうゆう祭」を平成28年10月に開催し、約3,600人の来場者がありました。(③)

戦略目標	①働く場所を増やすため、農林業の振興や企業誘致等を進めます。 ②健康・医療・福祉・介護の充実等を進め、地域で「住みたい」「住みやすい」と思う人の割合を増やします。 ③災害による死者をなくす・人命を守ることを最大の目標に、できる限り被害を減少させます。 ④南部地域・東部地域への二地域居住・移住者を増加させます。(H32年度までに、地域受入協議会に対する支援を30件にします。)(H32年度までに、二地域居住や移住を促進するための拠点施設整備への支援を25件にします。(H26年度2件))
------	--



取組	二地域居住・移住を受け入れる仕組みづくりと拠点整備、移住者の働く場の確保に取り組みました。(①,②,③,④)
成果	平成28年の南部地域・東部地域の人口の社会増減は、南部地域で956人減、東部地域で464人減と、前年より、南部地域では社会減が減り、東部地域では社会減が増えました。

主な取組指標等	平成26年度	平成27年度	平成28年度	担当課名
働く場所づくり(①)				
「奈良の柿」販売額(百万円)	3,665	3,247	4,323	農業水産振興課
県産材利用住宅への助成件数(件)	70	252	157	奈良の木ブランド課
暮らしやすい地域づくり(②)				
医師確保修学資金貸与者数(人)[累計]	99	107	110	医師・看護師確保対策室
認知症サポーター養成講座の修了者数(南部地域・東部地域)(人)[累計]	4,317	4,774	6,558	地域包括ケア推進室
県から運行経費の助成を受けるバス系統数(県補助対象)(系統)	26	25	26	地域交通課
災害に強いインフラの整備(③)				
完了宣言箇所の供用箇所数(南部地域・東部地域)(カ所)	3	11	18	道路建設課
単独処理浄化槽数(吉野川流域)(基)※	4,481	4,433	4,380	環境政策課
移住の推進(④)				
空き家バンク設置市町村数(市町村)	12	12	14	奥大和移住・交流推進室
地域受入協議会に対する支援件数(件)	—	4	6	奥大和移住・交流推進室
二地域居住や移住を促進するための拠点施設整備支援件数(件)	2	5	8	農業水産振興課
移住者「職」と「住」の拠点整備支援事業件数(件)	2	5	9	奥大和移住・交流推進室
ふるさと創生協力隊員の配置人数(人)	—	3	3	南部東部振興課

※は数値の低い方が良くなる指標

これまでの成果

- ・南奈良総合医療センターの開院(H28年4月)により、南和地域の救急医療体制が強化されました。(救急搬送受入件数:H27年度:5.7件/日→H28年度:11.2件/日)(②)
- ・南部地域・東部地域をはじめ救急車による搬送時間を要する地域からの重篤患者に対応するため、平成29年3月に奈良県ドクターヘリの運航を開始しました。(②)
- ・奥大和移住定住交流センター「engawa」を橿原総合庁舎内に平成28年4月に開設し、移住・定住相談員による移住や空き家相談等の対応をしました。また、空き家や廃校等を活用した移住・交流体験施設9カ所の整備を支援しました。(④)

4. 平成30年度に向けた課題の明確化

<政策目標達成に向けた進捗状況>

・平成27年の南部地域・東部地域の交流人口（観光客数）は755万人と、前年より10万人増加しました。
 ・平成28年の南部地域・東部地域の人口の社会増減は1,420人減と、前年よりやや社会減が増えました。
 ・自分の住んでいる地域の活気や魅力に対する満足度は、南西部地域が前年度をやや下回りました。（H28年度県民アンケート調査〈5段階評価〉 中部2.73、東部2.41、南東部2.26、南西部2.22、県全体2.69）

<奈良県の持っている強み>

- 1 豊かな自然環境、おいしい空気や水
- 2 豊かな森林資源、吉野材ブランド
- 3 地域の住民の絆が強い
- 4 世界遺産をはじめとする豊富な歴史・観光資源
 （「紀伊山地の霊場と参詣道」H16年7月登録）
 （「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」H19年1月暫定リスト登録）
- 5 京奈和自動車道の供用区間延伸
- 6 情報通信基盤の充実
- 7 南部・東部の魅力浸透等による観光入込客数の回復

<奈良県の抱えている弱み>

- 8 産業用地の不足
- 9 人口減少と高齢化による活力低下
- 10 若者の就業の場の不足
- 11 農林業等地域産業の衰退
- 12 医師の確保が困難
- 13 路線バスの休廃止・減便の進行
- 14 日常生活サービスの脆弱化

<戦略目標達成に向けた進捗状況>

・平成27年の南部地域・東部地域の観光客数は、前年と比べて、南部地域では11万人減、東部地域では21万人増でした。また、宿泊客数は、前年と比べて、南部地域では3万人増、東部地域では1万人増でした。
 ・平成28年の南部地域・東部地域の人口の社会増減は、南部地域で956人減、東部地域で464人減と、前年より、南部地域では社会減が減り、東部地域では社会減が増えました。

<奈良県への追い風>

- a 国の経済政策による景気回復傾向
- b 国による国土強靱化の推進
- c 「住みたい」「住み続けたい」意識の高さ
- d 多様なライフスタイル指向の高まり（ニーズが高いもの）
 - ・医療・介護等高齢者福祉への支援
 - ・若者の雇用の場の創出
 - ・林業等地域産業の振興
 - ・バス交通等生活維持のための対策
- e 国による地方創生の動き
- f 京奈和自動車道の共用（御所南IC～五條北IC）

<奈良県への向かい風>

- g 人口減少、労働人口の減少
- h 企業の生産拠点の海外移転
- i 食品や木材の輸入品の増加

<強みで追い風を活かす課題>

[重要課題]観光交流の促進（地域の魅力の発信）（1,4,5,6,7,a,c,e）

<弱みを踏まえ追い風を活かす課題>

[重要課題]移住の推進（9,10,11,c）
 [重要課題]医療・高齢者支援の充実（12,13,14,c,d）
 ・紀伊半島アンカールートの早期整備（8,14,b,c,f）
 ・教育・子育ての充実（9,c）
 ・公共交通の確保（13,c,d）
 [重要課題]住民が安心して暮らせる基盤整備（13,14,c,d）

<強みで向かい風を克服する課題>

[重要課題]地域資源の活用（地域の魅力の発見・創造）（1,2,3,4,7,g,i）

<弱みを踏まえ向かい風に備える課題>

[重要課題]企業立地の促進（8,g,h）
 [重要課題]農林業等地域産業の振興（11,g,i）

5. 平成27年度の評価を踏まえ、平成29年度に向けて見直した課題、取組

見直した課題	見直した取組方針、見直した内容
移住の推進(戦略2)	雇用を創出するため、平成29年度から、民間企業や市町村と連携し、地域の特産物、自然環境等の豊かな資源を活かしたビジネスの創造等、地域の「新たな仕事づくり」や既存の「生業の継承」に取り組むこととしました。

6. 重要課題についての今後の取組方針

強みで追い風を活かす課題	今後の取組方針
観光交流の促進(地域の魅力の発信)(戦略1)	<ul style="list-style-type: none"> ・南部地域・東部地域活性化イベントを開催します。 ・旅行雑誌や旅行サイト等の多様な広報媒体を活用し、首都圏や関西圏等に向けた、奥大和の情報発信を積極的に行います。 ・奥大和の地域食材や特産品を活かした「食」のプロモーションを実施します。 ・うだアニマルパークを拠点とした取組を推進します。 ・「吉野・高野・熊野の国」関係3県が連携した取組を推進します。

弱みを踏まえ追い風を活かす課題	今後の取組方針
移住の推進(戦略2)	<ul style="list-style-type: none"> ・移住者の情報交換及び交流の取組を充実します。 ・奥大和移住定住交流センター「engawa」を拡充し、奥大和地域19市町村が参加する奥大和移住・定住連携協議会により、特に大都市圏への移住情報の発信や移住体験に関する取組を推進します。 ・市町村での取組(広報、イベント、ワンストップ窓口、空き家バンク)を支援します。 ・移住・二地域居住のために必要な拠点施設を調査し、整備方針について検討します。 ・地域の特産物、自然環境等豊かな資源を活かしたビジネスの創造等、地域の「新たな仕事づくり」を促進します。 ・移住者・二地域居住者のための起業や受入体制整備を支援します。
医療・高齢者支援の充実(戦略2)	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者等が地域で安心して住み続けることができるようにするため、医療・介護等が連携した地域包括ケアシステムの構築を推進します。 ・救急医療を中心に担う病院と慢性期を中心に担う病院が連携し、安定的な医療提供体制を提供します。
住民が安心して暮らせる基盤整備(戦略2)	<ul style="list-style-type: none"> ・道路防災対策及び土砂災害対策を推進します。 ・市町村の住民避難対策の支援等、災害時の安心・安全を確保します。 ・県内外からの支援を受け入れて、迅速に対応できる広域防災拠点の整備に向けた取組を推進します。

強みで向かい風を克服する課題	今後の取組方針
地域資源の活用(地域の魅力の発見・創造)(戦略1)	<ul style="list-style-type: none"> ・「食」と「泊」を売り出すオーベルジュ等の整備を促進し、それらのネットワーク化を推進します。 ・奈良県植栽計画に基づき、南部地域・東部地域の自然環境や森林資源を生かした「庭」を整備します。 ・地域資源を活かしたスポーツや各種イベント等を開催します。 ・南部地域・東部地域の自然環境等を活かしたスポーツイベントや特色を活かしたイベントの開催を支援します。

弱みを踏まえ向かい風に備える課題	今後の取組方針
企業立地の促進(戦略2)	<p>京奈和自動車道御所IC周辺に新たな産業用地を造成するほか、五條北IC周辺で分譲中の工業団地、また郡山下ツ道ジャンクション供用開始により利便性がさらに高まってきた名阪国道周辺等、南部地域・東部地域への企業立地を促進します。</p>
農林業等地域産業の振興(戦略2)	<ul style="list-style-type: none"> ・柿等の農産物等のブランド化・生産拡大による流通販売の強化を進めます。 ・A・B・C材ごとに受け入れる製材・加工施設の確保と、それぞれの流通体制の構築を図ります。 ・木質バイオマスエネルギーの利活用の拡大を図ります。 ・鳥獣被害を軽減し、捕獲野生獣の有効活用を図ります。 ・奈良県にゆかりの深い漢方について、生薬の生産拡大や関連する商品・サービスの創出等を総合的に推進します。 ・セミナーの開催や相談窓口の設置等、在宅での起業の支援を行います。